

『犬から聞いた素敵な話 涙あふれる14の物語』

山口 花／著 東邦出版（2012年）

著者が取材によって集めた、犬と飼い主の14の物語。前半の7話は飼い主の視点から、後半の7話は犬の視点から書かれたエピソードとなっています。うまく泣くことができない「私」のもとにやってきた空知。ボール遊びや追いかけて仲を深めていく「私」と空知ですが、ある日空知が大型犬に噛まれてしまいます。その時、「私」は…？このお話のほか13の物語に出てくる犬と飼い主、それぞれの出会いや、起こる出来事は様々ですが、どのお話も愛情にあふれています。



『犬と一緒に生き残る防災BOOK 決定版』

犬防災編集部／編

日東書院（2021年）



毎年のように災害が発生する日本。防災準備はできていますか？人間の準備は勿論、大切なペットのことも考えておきましょう。この本には災害発生時のケガの応急処置から避難所での過ごし方など、様々な情報が載っています。自分や家族が辛い被災しなくてすんだときにも、防災対策を知っていれば、誰かの大切なワンちゃんを助けることができるかもしれません。ワンちゃんを飼っている方なら一度は目を通しておきたい一冊です。

『ドッグトレーナー・犬の訓練士になるには』

井上 こみち／著

ペリかん社（2016年）

ドッグトレーナーや犬の訓練士を目指す人は、犬が好きという人が大部分を占めています。しかし、好きという気持ちだけではやっていけない職業です。就職して3か月ほどでやめてしまう人も多いそうです。ここでは多くの先輩方の生の声が綴られつつ、ドッグトレーナーや犬の訓練士を目指すときの心構えやフローチャートが書かれています。狭き門ですが、諦めずに挑戦することが大切なのだと気づかされると思います。



『夜明けをつれてくる犬』

吉田 桃子／著 講談社（2021年）

みんながふつうにできているおしゃべりができず、友達がいないう5年生の美咲は、まるでどの真ん中にみえないビー玉がつまっているみたい。そのビー玉がじゃまをして、声が、言葉が出ません。唯一寄り添ってくれた愛犬レオンの死からも立ち直れないでいる中、レオンとそっくりな犬ピリーを通学路にオープンした花屋で偶然見かけます。新しく出会ったピリーと心優しい花屋のおねえさんから、気持ちを伝える大切さを教わり、美咲の心に変化がもたらされます。



『犬と私の10の約束』

サイトウ アカリ／著 毎日新聞社（2008年）

この話は私が12歳から24歳までの話です。私の家は、脳外科医のお父さんと、近所の人たちから「不思議さん」といわれるような独特の感覚を持ったお母さんとの3人暮らしです。12歳の私は犬が飼いたくて仕方ありませんでした。そんな私にお母さんが「犬を飼うときには犬と10の約束をしないとイケないのよ」と教えてくれました。「1つ目は、あなたと一緒にいる時間は10年くらいしかありません」など犬を飼ううえでとても大事なことです。そんな犬との約束を紹介していきます。



『優しい死神の飼い方』

知念 実希人／著

光文社（2016年）



人間よりはるかに高位で霊的な存在、人間が言うところの“死神”の私はうっかり失言してしまったため人間界へ左遷されてしまう。なぜかゴールデンレトリバーの姿になってしまった私は、運よくホスピスで飼われることになった。少しでも我が主様のもとへ人間の魂を導き、左遷から復活するため犬のフリをしながらホスピスの患者たちと交流を図る。しかし、患者たちはひと癖もふた癖もあるものばかりで一流の死神である私であっても難航してしまう。